

日本初のプログラム 1期生がロンドン大学の学位を取得！！ ～ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラム（PDP）～

グローバル教育を推進する武蔵大学（東京都練馬区／学長 山崎哲哉）では、2015年度よりロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラム（PDP）を実施しています。PDPは、武蔵大学に通いながらロンドン大学の学位が取得できる国際的プログラムで、本学が日本で初めて導入しました。今年度ようやくプログラムの完成を迎え、1期生から見事、ロンドン大学学位取得者が2名誕生しました。

学位取得者創出でプログラムの成功を確信



鈴木唯 PDP教育センター長

この度、武蔵大学 PDP1期生の2名がロンドン大学の BSc in Economics and Management の学位取得に至ったことに感激しています。PDPはロンドン大学およびLSEが授業内容を管理し、また試験・評価を行う厳しいものですが、2人は4年間にわたって努力し続けたパイオニアです。PDP教育センターは2人に続く学生のためにより良い授業とプログラムを提供することにコミットしており、学位取得者数も来年、再来年と増えていくと見込んでいます。今後も、グローバルスタンダードの経済・経営学を真剣に学びたい学生を全力でサポートします。（PDP教育センター長 鈴木唯）

<PDP1期生> ロンドン大学学位取得者の声



静岡県立富士東高等学校出身
就職先：トレンドマイクロ(株)

教授や仲間との距離が近く、充実した環境で学ぶことができた

少人数で授業を受けることができ、教授との距離が近いことから積極的に質問する機会にも恵まれました。学習環境は非常に充実していたと感じています。限られた時間の中で2つの大学の授業をこなさなければいけないため、計画的な時間の使い方が身につきました。長時間の勉強で精神的に疲れてしまうこともありましたが、仲間と協力して日々の学習をすることで、モチベーションを維持しました。授業では議論をすることも多く、就職活動の面接やグループディスカッションの際に、自分の意見を論理的に伝えるのに役立ちました。PDPを通じて得られた新しいことにも積極的に挑戦するマインドは、就職後も役立つと考えています。卒業後はPDPでの経験を活かして、自ら社会に影響を与えられる仕事に携わってみたいです。



都立富士高等学校出身
就職先：グローバルマーケティングリサーチ企業

2つの学位は自分の誇りに。First Class Honours の評価獲得。

PDPに参加し、より多くのことを学ぶことができました。特にSIM^{※1}への留学では日本とは全く異なる環境での経験を通じて、大きく成長することができました。日々の学習では、効率を重視。自分に合った勉強法を模索しました。質問をしたり、友達に教えたりすることを通して、自身の知識を整理するようにしました。

1期生のため、前例のない中での授業や試験対策は大変でしたが、ともに勉強する友達の存在は心の支えとなってくれました。苦労もありましたが、それを努力で乗り越えることができて、良かったです。武蔵大学とロンドン大学、2つの学位を取得できたことに加え、First Class Honours^{※2}の評価を頂けたことも、誇りに思っています。

今後は、PDPで学んだ知識を応用して、多くの企業商品のマーケティングで活躍したいと思います。

※1：Singapore Institute of Management の略 ※2：First Class Honours：合格者は試験のスコアによって First (スコア 70-100)、Upper Second (60-69)、Lower Second (50-59)、third (40-49) に分類される。スコア 40 未満は fail (不合格) となる。First Class Honours は最も優秀な成績。

—報道関係者問い合わせ先—

武蔵大学 広報室 西・齋藤 (にし・さいとう)

TEL：03-5984-3813 FAX：03-5984-3727 E-mail：pubg-r@mml.sec.musashi.ac.jp

ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラム（PDP）

ロンドン大学とは

ロンドン大学は、ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス（London School of Economics and Political Science, LSE）やキングス・カレッジ（King's College London, KLC）など国際的に高い評価を得ている18のカレッジと9つの研究機関により構成される大学です。

パラレル・ディグリー・プログラム（PDP）とは

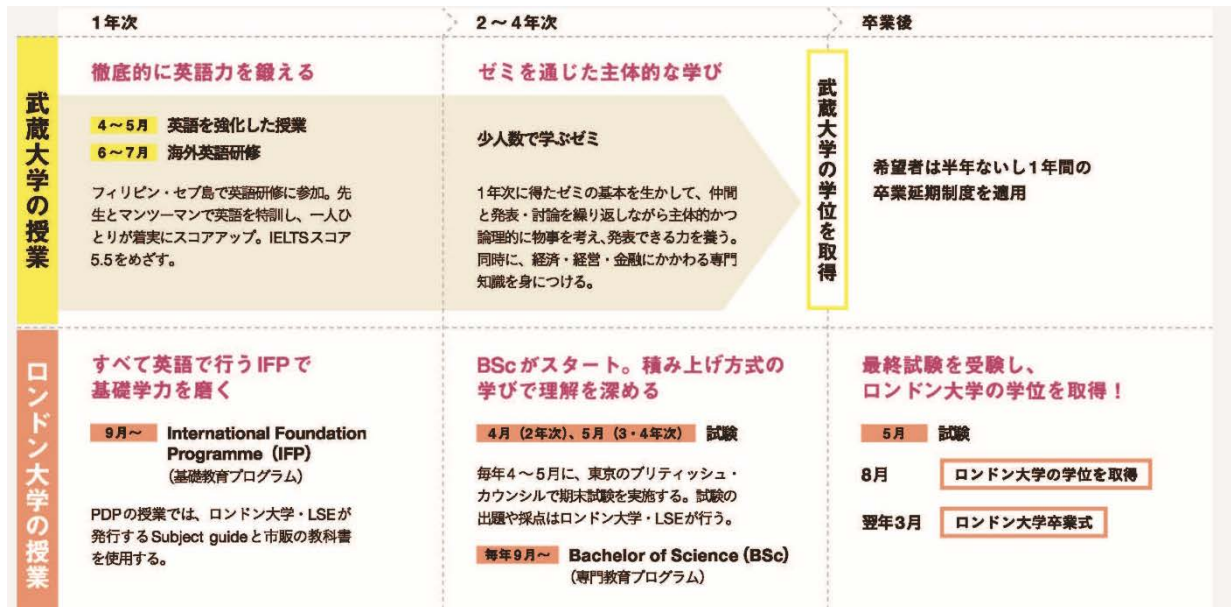
PDPは、武蔵大学に通いながらロンドン大学のBSc（専門教育プログラム）を並行履修し、両大学の学士号を取得できる制度です。このプログラムは経済学部の入学生30名程度を対象とし、語学の成績などで選考を行います。

学位取得までの流れ

学生はまず1年次の4～7月の間、授業や海外英語研修で英語力を鍛えます。その後IELTS™を受験し、スコア5.5以上を取得できた学生は、9月からロンドン大学のIFP（基礎教育プログラム）科目を4科目履修します。IFPの期末試験に合格すると、2年次の9月からBSc（専門教育プログラム）の履修が可能となり、3年間で12科目を履修し、毎年試験に合格すれば、ロンドン大学の経済経営学学士号を取得できます。これらの科目は武蔵大学の教員によって英語で講義され、武蔵大学の学位の単位としても認められます。



▲LSE出身のパドロ・フランコ助教によるPDPの授業風景



ダブル・ディグリーとの違い

	パラレル・ディグリー・プログラム(PDP)	ダブルディグリー
留学	国内で学べるので留学費用が不要。 留学を希望する場合は、LSE やロンドン大学のBScを実施している海外の教育機関に留学できる。	1～2年留学する必要がある
学び	全世界共通のプログラム。ロンドン大学・LSEによる採点・評価。	留学しても、受講科目が現地の学生と全て同じとは限らない。
科目	ロンドン大学の科目を4年間続けて履修できる。	留学期間中の1～2年間のみ、留学先の科目を履修する。

■武蔵大学【アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分】 ～都心に近く 緑豊かなワンキャンパス～

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正11）年に私財を投じて創立した日本初の私立旧制七年制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和23）年4月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開校され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。武蔵大学は、経済、人文、社会の3学部8学科からなる文系総合大学。一年次から4年間のゼミナールが必修で「ゼミの武蔵」といわれる。近年ではロンドン大学の学位が取得できるプログラムや国際村の設置などグローバル教育にも力を入れている。

学長 山崎哲哉 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上1-26-1